

令和 5、6 年度

各位

明治維新 160 年・板垣退助先生 110 回忌顕彰祭実行委員会

一般社団法人板垣退助先生顕彰会

## 【板垣退助 110 回忌記念事業ご協賛】のお願い

謹啓 時下、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平成 30 年は、折しも**板垣退助先生百回忌の大遠忌**にあたり、皆様方の広く厚き御協賛・御協力を賜りまして、高知・岐阜・東京に於いての盛大なる記念法要、また令和元年は、**西郷隆盛先生・板垣退助先生・中岡慎太郎先生ら勤皇の維新三傑を顕彰する石碑**を京都祇園に建立し、除幕式を恙無く執り行うことが出来ましたことを深く御礼申し上げます。

我々は、平成 31 年 2 月 11 日（祝）の建国記念の日を期し、明治維新百五十年・板垣退助伯爵薨去百回忌記念として『板垣精神』と題する書籍を出版いたしました。この記念書籍につきましては、**シリアル・ナンバー**を附し、百回忌記念式典挙行へご協賛を下さいました各位へ過日奉呈させて頂きました通りでございます。

ところが、令和 4 年、板垣岐阜遭難の 140 年となる年に、**安倍晋三元総理が民意を問うべき選挙演説の最中に背後から銃撃され暗殺される**という惨劇が起きました。我々は、明治以降連綿と培われた議会政治への冒瀆ととらえ憤るとともに、今もなお、幕末・明治の先人に学ぶことが多いことを改めて実感いたしました。この近代日本への転換期と言える幕末・明治の歴史を顕彰しその資料を後世に伝えるべく、現在、**記念書籍続編の編纂**を行っております。しかし、その出版には、まだまだ多くの方々のお力が無いと叶いません。

引き続き御協賛・御協力を頂ける方々につきましては、記念書籍（続編）の中に御芳名を収録する所存でございますので、今後とも御協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

我々は皆さまと一緒に、**世界に誇るべき日本の歴史的記録を後世へ伝える活動**を行うため、日々研鑽し、努力を怠らず、常に前進して参りたいと考えております。

重ねて今後とも御指導御鞭撻を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

末筆ながら、謹んで皇室の弥栄とわが日本の繁栄、ご支援を続けて下さいました皆様のご多幸と弥益々のご発展を、赤誠の念を以てお祈りする次第でございます。

謹白